



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月9日

上場会社名 中道リース株式会社

上場取引所 札

コード番号 8594 URL <https://www.nakamichi-leasing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 関 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営主計室長 (氏名) 遠藤 龍二

TEL 011-280-2266

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年12月期第3四半期の業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	30,876	4.8	726	5.6	761	5.8	520	8.8
2019年12月期第3四半期	29,448	1.1	688	3.5	720	4.7	478	9.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	70.35	
2019年12月期第3四半期	64.80	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	124,645	8,425	6.8
2019年12月期	131,289	8,010	6.1

(参考)自己資本 2020年12月期第3四半期 8,425百万円 2019年12月期 8,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期				8.50	8.50
2020年12月期					
2020年12月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,400	2.2	660	27.2	700	26.4	440	28.9	59.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	8,679,800 株	2019年12月期	8,679,800 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,274,199 株	2019年12月期	1,284,907 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	7,398,410 株	2019年12月期3Q	7,383,156 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による国内外での経済活動の停滞やインバウンド需要の縮小に加え、7月の豪雨災害等の影響もあり、景気は大きく後退いたしました。緊急事態宣言の解除後は、国内経済活動が徐々に再開され、経済の持ち直しが期待されているものの、感染再拡大の懸念は依然として払拭されておらず、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社は、営業部門におきましては、東京支社に属していたバス関連営業部を事業部として独立させバス事業営業部とし、また釧路営業所及び山形営業所をそれぞれ支店に昇格させるなどの営業強化を図りましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、営業活動を積極的に展開することはできませんでした。その結果、当第3四半期累計期間における新規受注高は29,128百万円（前年同四半期比13.1%減）となりました。

当第3四半期累計期間の売上高は、リース売上高及び割賦売上高の増加等により30,876百万円（同4.8%増）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により貸倒引当金繰入額は増加しましたが、債権の証券化の実行に伴う譲渡益の計上等により営業利益は726百万円（同5.6%増）、経常利益は761百万円（同5.8%増）、四半期純利益は520百万円（同8.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。なお、各セグメントにおける売上高については「外部顧客に対する売上高」の金額、セグメント利益については報告セグメントの金額を記載しております。

[リース・割賦・営業貸付]

当セグメントの新規受注高は28,739百万円（前年同四半期比12.1%減）、営業資産残高は債権の証券化の実行により資産の一部を譲渡したため、89,709百万円（前期末比7.5%減）となりました。売上高はリース収入の増加等により28,214百万円（前年同四半期比5.2%増）、新型コロナウイルス感染症の影響により貸倒引当金繰入額は増加しましたが、債権の証券化の実行に伴う譲渡益の計上等により、セグメント利益は385百万円（同6.9%増）となりました。

[不動産賃貸]

当セグメントの新規受注高は378百万円（前年同四半期比55.3%減）、営業資産残高は13,762百万円（前期末比2.5%減）となりました。不動産賃貸料収入の増加により売上高は2,636百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント利益は813百万円（同4.3%増）となりました。

[その他]

当セグメントの新規受注高は11百万円（前年同四半期はありませんでした）、営業資産残高は80百万円（前期末比6.1%減）となりました。売上高は26百万円（前年同四半期比8.2%減）、セグメント利益は19百万円（同1.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前期末比6,644百万円減少し124,645百万円となりました。これは主に債権の証券化の実行に伴う割賦債権及びリース投資資産の減少によるものです。

負債合計は、前期末比7,059百万円減少し116,220百万円となりました。これは主に債権の証券化の実行に伴う長期借入金等の有利子負債の減少によるものです。

純資産合計は、前期末比415百万円増加し8,425百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期の業績予想につきましては、2020年2月14日に公表いたしました数値からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,588,110	11,535,684
受取手形	2,483	161
割賦債権	25,254,445	20,654,387
リース債権及びリース投資資産	70,100,987	67,335,370
営業貸付金	142,391	180,722
その他の営業貸付債権	2,136,882	1,905,356
貸貸料等未収入金	2,314,018	2,395,738
その他の流動資産	557,297	708,836
貸倒引当金	△139,426	△323,074
流動資産合計	111,957,188	104,393,181
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	14,486,053	14,074,938
社用資産	62,559	62,277
有形固定資産合計	14,548,612	14,137,215
無形固定資産	83,904	71,553
投資その他の資産		
その他の投資	4,660,376	6,043,770
貸倒引当金	△31,973	△61,056
投資その他の資産合計	4,628,403	5,982,713
固定資産合計	19,260,919	20,191,481
繰延資産	70,832	60,174
資産合計	131,288,938	124,644,836
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,022,892	313,619
買掛金	2,810,895	3,930,249
短期借入金	2,570,000	2,070,000
1年内返済予定の長期借入金	32,160,442	30,719,767
1年内償還予定の社債	2,260,000	3,930,000
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	221,076	222,995
未払法人税等	202,536	513,647
割賦未実現利益	994,318	702,086
役員賞与引当金	45,000	-
賞与引当金	92,335	86,054
その他の流動負債	1,782,508	2,159,211
流動負債合計	44,162,003	44,647,629

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
固定負債		
社債	5,440,000	3,550,000
長期借入金	62,215,870	57,400,606
債権流動化に伴う長期支払債務	1,295,676	816,526
退職給付引当金	61,882	65,772
受取保証金	5,855,284	5,775,669
資産除去債務	847,137	857,803
その他の固定負債	3,401,413	3,106,256
固定負債合計	79,117,264	71,572,632
負債合計	123,279,267	116,220,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,297,430	2,297,430
資本剰余金	2,137,430	2,137,430
利益剰余金	3,601,841	4,059,456
自己株式	△219,947	△218,624
株主資本合計	7,816,755	8,275,692
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	192,917	148,883
評価・換算差額等合計	192,917	148,883
純資産合計	8,009,671	8,424,575
負債純資産合計	131,288,938	124,644,836

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	29,448,231	30,875,781
売上原価	27,109,180	28,280,209
売上総利益	2,339,051	2,595,572
販売費及び一般管理費	1,651,169	1,869,118
営業利益	687,882	726,454
営業外収益		
受取利息	276	241
受取配当金	15,591	15,611
投資事業組合運用益	-	6,146
匿名組合投資利益	28,792	35,082
償却債権取立益	-	312
その他の営業外収益	424	514
営業外収益合計	45,083	57,905
営業外費用		
支払利息	10,937	18,755
支払手数料	2,132	2,128
その他の営業外費用	378	2,057
営業外費用合計	13,447	22,940
経常利益	719,518	761,419
特別利益		
投資有価証券売却益	-	11,416
特別利益合計	-	11,416
特別損失		
投資有価証券評価損	5,304	3,985
固定資産除売却損	27	1,171
特別損失合計	5,331	5,156
税引前四半期純利益	714,188	767,679
法人税、住民税及び事業税	311,062	671,249
法人税等調整額	△75,298	△424,042
法人税等合計	235,764	247,207
四半期純利益	478,424	520,472

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	リース・割賦 ・営業貸付	不動産賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,822,500	2,597,504	29,420,004	28,227	29,448,231	—	29,448,231
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	26,822,500	2,597,504	29,420,004	28,227	29,448,231	—	29,448,231
セグメント利益	359,839	779,919	1,139,758	19,328	1,159,086	△471,204	687,882

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケアサポート事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△471,204千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	リース・割賦 ・営業貸付	不動産賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,214,114	2,635,765	30,849,879	25,901	30,875,781	—	30,875,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	28,214,114	2,635,765	30,849,879	25,901	30,875,781	—	30,875,781
セグメント利益	384,750	813,208	1,197,958	19,046	1,217,004	△490,550	726,454

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケアサポート事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△490,550千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を見通すことは困難であります。当社は翌2021年度以降も一定期間にわたって新型コロナウイルス感染症の影響が継続するとの仮定を置き会計上の見積りを行っております。

会計上の見積りの影響につきましては、入手可能な情報に基づく最善の見積りを行い、当該影響により予想される損失に備えるため、適切に貸倒引当金を計上しておりますが、経済への影響が長期化する場合、将来的に損失額が増加する可能性があります。